

NPO協働提案推進事業

「織物でつむぐ埼玉の元気なまちづくり」事業

団体名 川越むかし工房 県担当課 秩父地域創造センター

事業概要

埼玉県近代化を支えてきた産業である「織物」を切り口に、埼玉の魅力を再発見してもらい町の活性化を促すことを目的とする。普段着の着物文化を暮らしに取り戻すために着物での町歩きを開催。織物ゆかりの県内の市町村を広く紹介するお出かけガイドブックを作成する。

- 1) 川越と秩父にて「きもの散歩」の開催。川越では明治の建物、川越織物市場の保存に尽力した「川越織物市場の会」と交流。秩父では地元のNPOに町案内を依頼し、秩父銘仙の織り元2軒との意見交換会、銘仙収集家による銘仙鑑定会を開催。(川越25名・秩父25名参加)
- 2) 入間にて「埼玉織物サミット勉強会」開催。江戸研究家・法政大学の田中優子教授、埼玉大学の田村均教授による講演。町づくり団体と織物復元団体、着物愛好家が一堂に会し交流した。着物の試着、展示、絣織り実演など。県内外各地より14団体、150名の参加。
- 3) 埼玉の織物を紹介し、関連する市民団体との交流を促すガイドブック「埼玉きもの散歩」を5千部発行。入間のイベントに参加した関連団体、着物関連団体、愛好家などに配布。毎日新聞、読売新聞、東京新聞、川越ケーブルTVで紹介され大きな反響を呼ぶ。冊子希望者250件以上問い合わせ電話が入る。

団体の紹介

川越の職人や暮らしを紹介する冊子作りを行う任意団体。現在11号まで発行、市内書店にて発売中。また、「普段着の着物文化を暮らしに取り戻す」ことを目的に毎月1回着物での町歩きイベント「川越きもの散歩」を開催し5年目を迎える。延べ参加者は500人以上。県内各地の織元や織物関連施設への見学、織物団体との交流を深めている。